



はちゃむ

98きまりの精神【礎】
『自律』『尊重』『協力』

『失敗』はかけがえのない『財産』

学校長 笹川 恒春

「失敗を思い出しても落ち込むだけだから、早く忘れろ」「いいイメージを残せ」

プラス思考というのだろうか、最近はそのような指導が多くなっているようだ。成功体験の方がより重視されるようになっている。「成功を経験することで、達成感や充実感、自信が得られ、それが更なる目標達成の意欲を生む」というわけだ。

もちろん、私もそれは否定しない。「ひとつひとつ小さな目標をクリアしていくことの達成感と充実感が人を成長させる」からだ。特に、成功することで得られる自信は何物にも代え難い。でも、それは失敗を無視していいということではない。

私はこう思っている。「人は、成功からは学ばない」と。

「どうして失敗したのだろうか。何がいけなかったのだろうか……」そうして失敗した原因を突き止め、「ならばどうすればいいのか」と解決策や打開策を考え、試行錯誤を繰り返す。同じことをしては結果も同じだから、良くなる可能性があれば変わることを厭わないし、新しいことにチャレンジすることも恐れない。その過程で、人は進歩し、進化し、成長していくのだと私は思う。そうしなければ、また同じ失敗を繰り返すに違いない。失敗は「経験」というかけがえのない財産をくれるのだ。

元MLBシカゴカブス(現読売ジャイアンツ)上原浩治 「覚悟の決め方」より

蒔田晋治さんの「教室はまちがうところだ」という有名な詩があります。そこには「みんなどしどし手をあげて間違った意見を言おう。それをみんなでああじゃないかこうじゃないかと言いつつ、本物を見つけ、みんな伸びていくのだ……」とあります。

失敗は誰でもしたくはないものです。でも、誰もがするものでもあります。だから、子どものうちに、どれだけ失敗を経験し、上原選手の言う「かけがえのない財産」をどれだけ獲得しておくかということはとても大切なことだと思っています。蒔田さんの言葉をちょっと拝借すると、「学校はまちがう(失敗)をしていいところ」なのです。だから、安心して何度でも失敗し、そこから学び、成長していけばいいのです。

子どもたちが社会に出ていく頃は、今では想像もできない大きな変化が待ち受けているでしょう。より多様化し、国際化している社会では、挑戦し、失敗し、それをバネにしながら力強く生きていく力がますます必要になっていきます。私たちはその力を、学校という安心して失敗できる環境の中で育てていきたいと思っています。今年度1年間、保護者、地域の皆様をはじめ、多くの方々に、発寒中学校は支えられてきました。その中で、至らぬ点、御心配をおかけした点もあったことと思います。私たちはそれらを真摯に受け止め、バネにし、次年度へ向けて力強く成長してまいります。今年度大変お世話になりました。ありがとうございました。そして、4月からも変わらぬ御支援をよろしくお願いいたします。



離任する教職員からお別れの言葉



梅津 寛治 教頭

2年前着任した時、生徒の皆さんの爽やかな挨拶と熱心に学習や学校行事に取り組む姿がとても印象的でした。それは、今でも変わりません。廊下を通るたびに、笑顔で元気よく挨拶をする子ども達、そして、PTA活動を支えていただいた保護者の皆様・地域の方々に、いつもたくさんのエネルギーをいただきました。発寒中学校は本当に素晴らしい学校です。お世話になりました。

本間 由美 教諭 国語

発中での7年間を振り返ると、授業でのひととき、図書館での何気ないやりとりが懐かしく思い出されます。忙しくも充実した毎日でした。その間お世話になった多くの方々に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

柴田 友希 教諭 国語

「出会いに感謝！」

生徒の皆さんの、生き生きと楽しそうに活動する姿を思い返す度に、温かい気持ちになります。教職員の方々にもたくさん支えていただきました。発寒中学校で出会えた全ての人に感謝しています。ここで過ごした時間は、私の宝物です。ありがとうございました。

安東 慎介 教諭 社会

過日、卒業生たちが無事巣立っていく姿を見送ることができ、安堵の気持ちでいっぱいです。本年度を含め、6年間お世話になり、支えてくださり本当にありがとうございました。

高橋 敬一 教諭 理科・技術

「発寒中学校の7年間」

年齢を重ねるにつれ、時が経つのが速く感じるようになってきました。振り返るとあっという間でした。卒業生を2回送り出すことができ、たまに遊びに来る彼らの成長に驚くこともよくありました。思い出いっぱいの校舎を後に新任校でも頑張りたいと思っています。長い間ありがとうございました。

穴戸 洋介 教諭 英語

毎朝、校門前の交差点で生徒たちを見守ってくださっていた保護司の太村さん、交通指導員の三浦さんや昨年夏に亡くなられた種田さんをはじめとする地域の方々、保護者、教職員、そして生徒達。信じられないほどの素敵な出会いを通して、一人の人間として深く考え、多くを学んだ9年間でした。皆様に与えていただいた幸せを、新たな場所で私自身が与えられるよう努力します。

二階堂 修 教諭 数学 退職

「充実した1年間」

まず、教員としての最後の勤務を発寒中学校で過ごすことができ、大変幸せでした。ありがとうございました。そして、懸命に努力し難題を解こうとする生徒の皆さんと共に、授業をすることに喜びを感じる1年間でした。中学校生活は3年間と一生のなかではほんの一瞬かもしれませんが、健康に留意し、大切に過ごしてください。さようなら。

4月の主な行事予定 (3/25 現在) 行事予定は変更する場合があります。

8日(月) 始業式	11日(木) 全学年標準学力検査	18日(木) 全国学力・学習状況調査
9日(火) 入学式	15日(月) 公開授業、学級PTA、	22日(月) 前期委員会認証式
11日(木) 全学年販売	PTA総会	23日(火) 学年PTA集会・学級PTA

自転車の安全利用について

平成30年4月1日から「北海道自転車条例」が施行となります。同条例ではヘルメットの着用や自転車損害賠償保険等への加入など、自転車利用者としての責務が規定されています。雪解けとともに自転車の利用が活発となってきます。自転車の安全利用について、ご家族で努めていただきますようお願いいたします。詳細は 先日配付の「自転車利用の皆様へ」のチラシをご覧ください。